

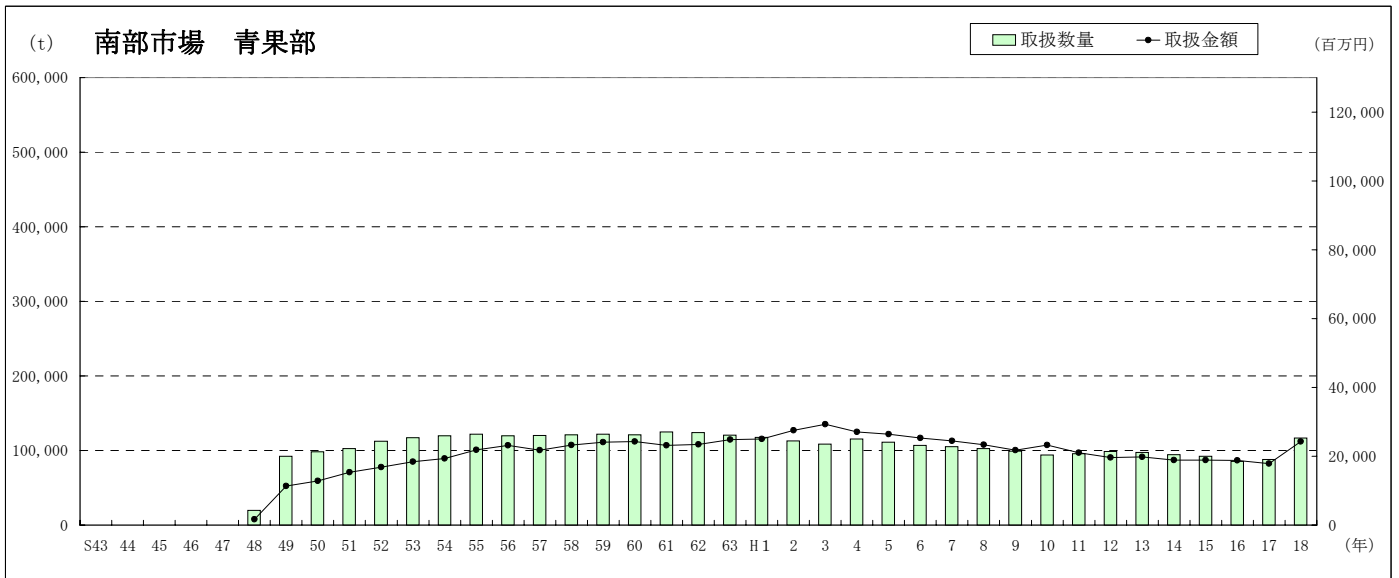
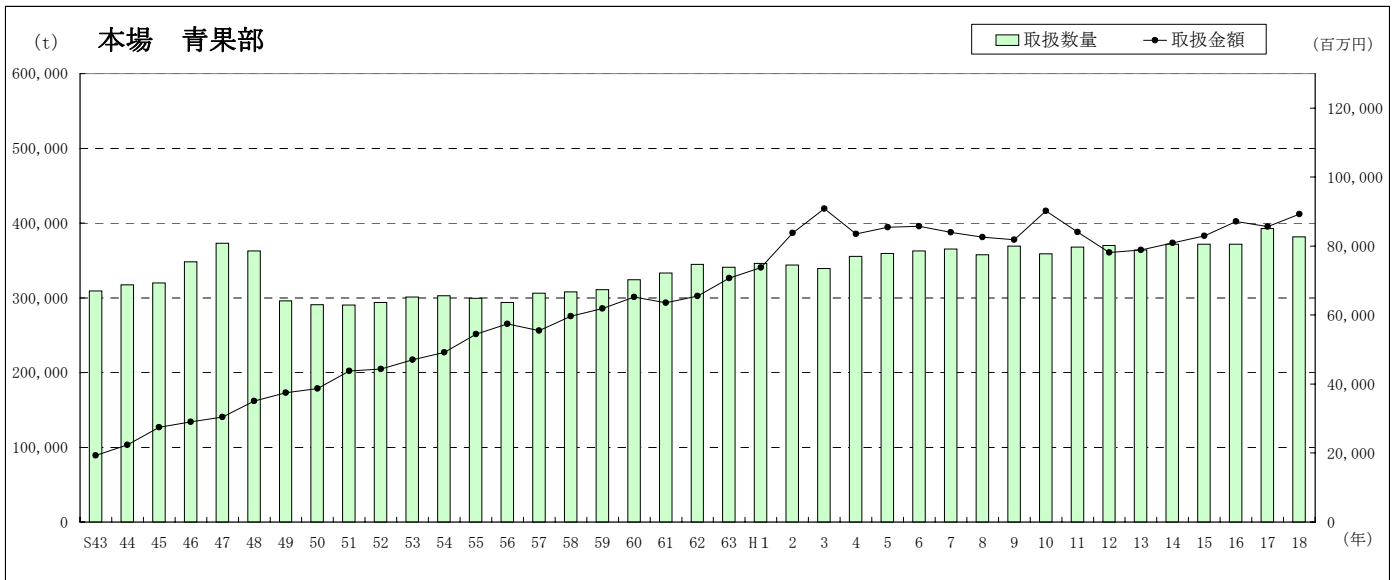
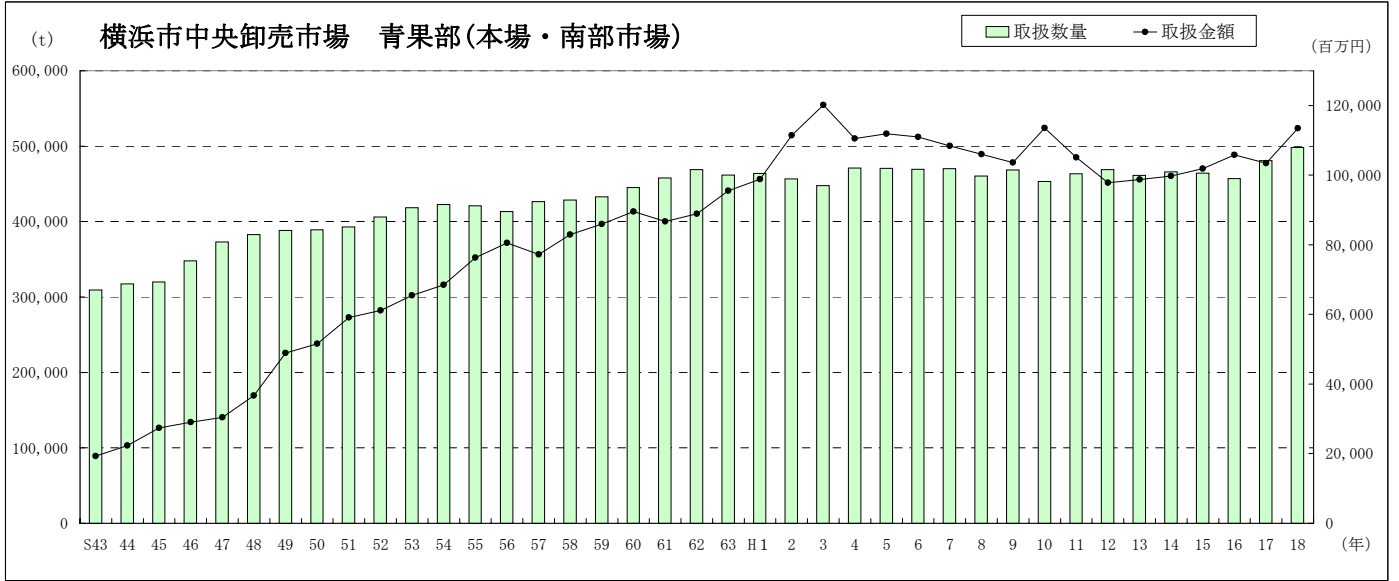
# 資料編

- 1 横浜市中心卸売市場の取扱高・経営状況等関連資料
- 2 横浜市中心卸売市場のあり方検討委員会会議録

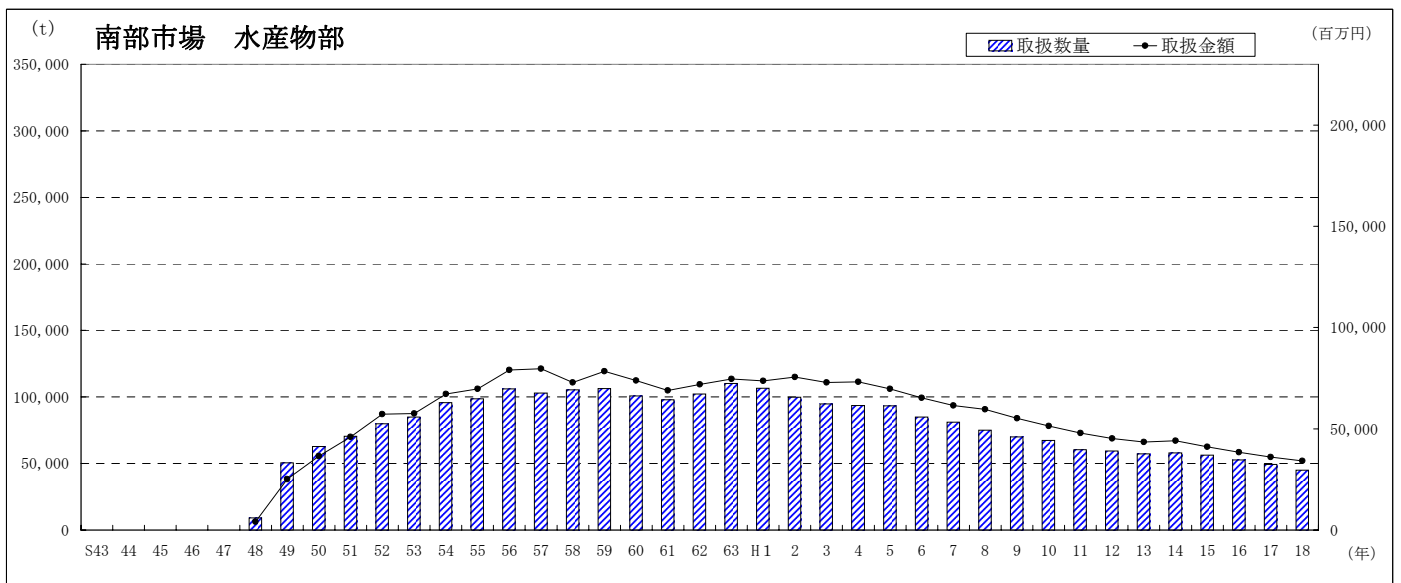
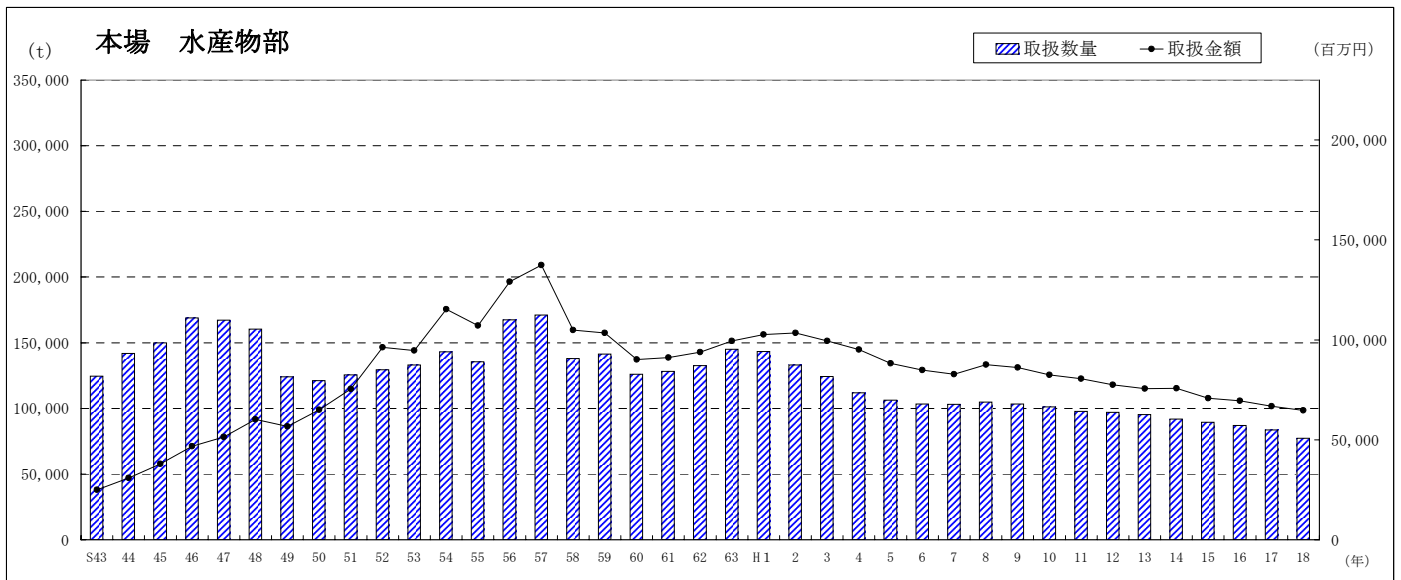
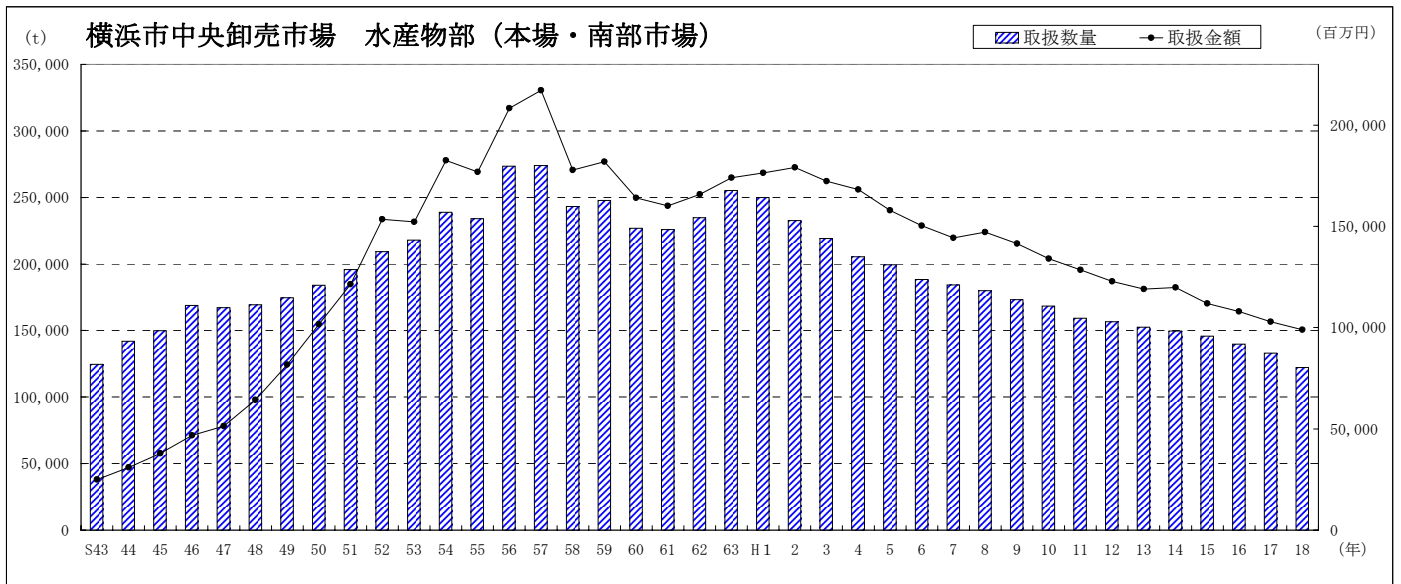
## 1 横浜市中央卸売市場の取扱高・経営状況等関連資料

横浜市中央卸売市場取扱高の推移 (昭和43年～平成18年)

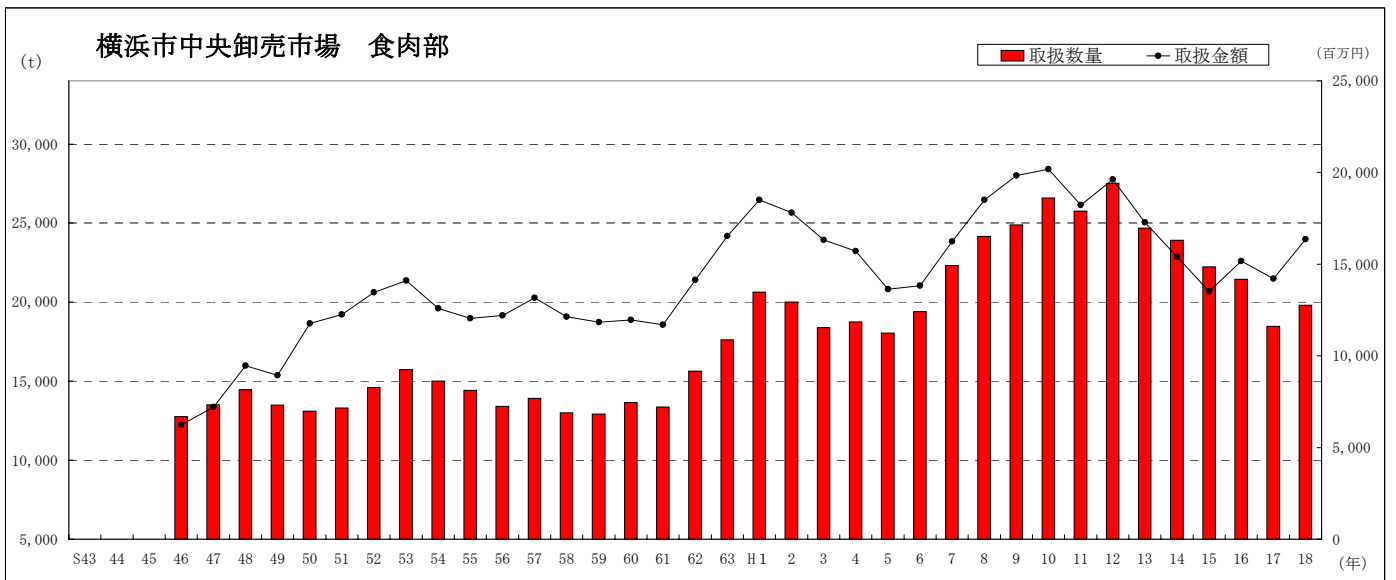
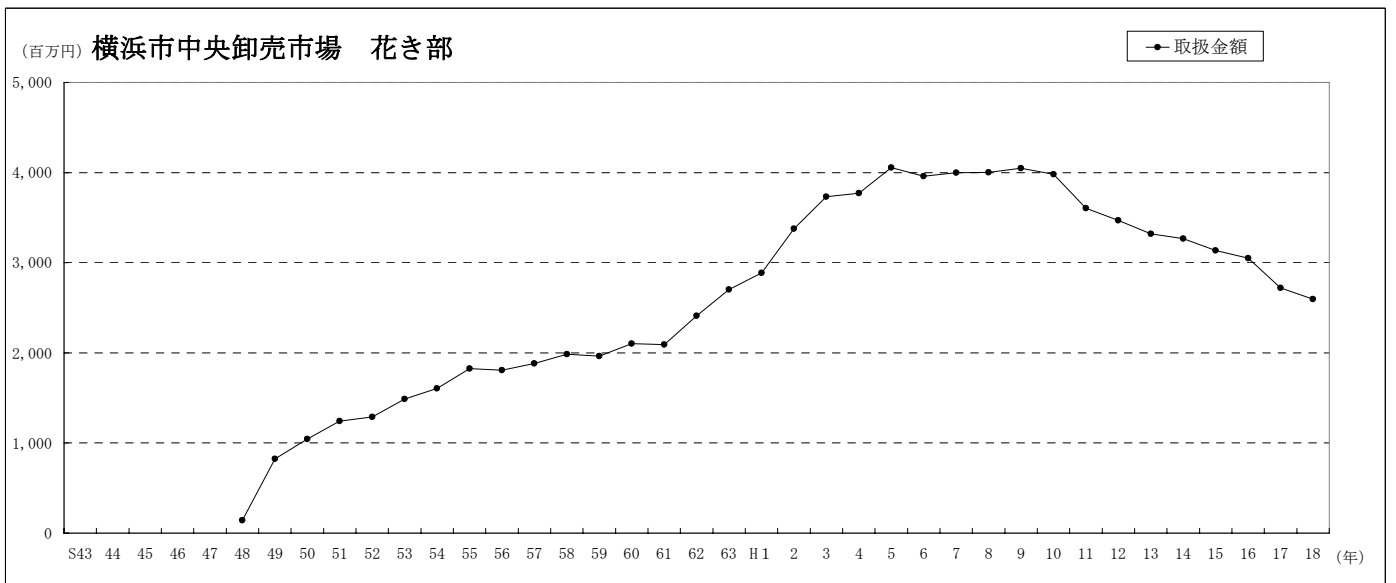
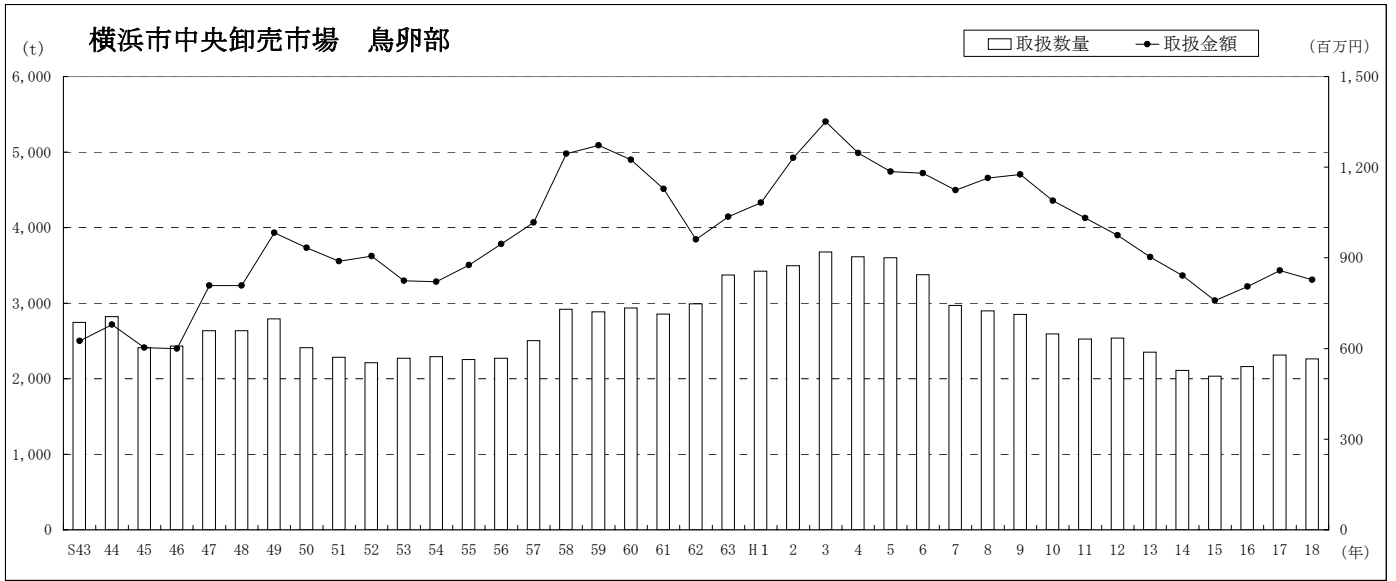
資料 1



横浜市中央卸売市場取扱高の推移（昭和43年～平成18年）



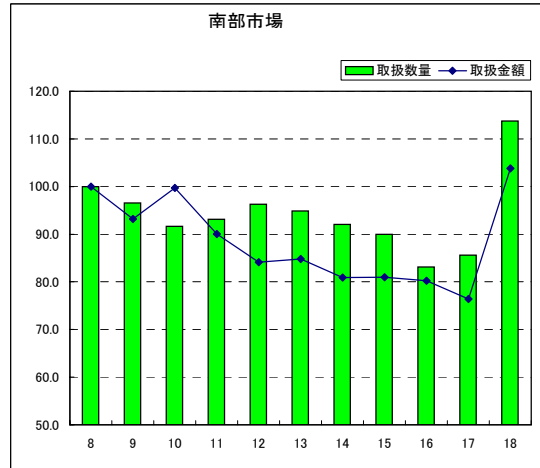
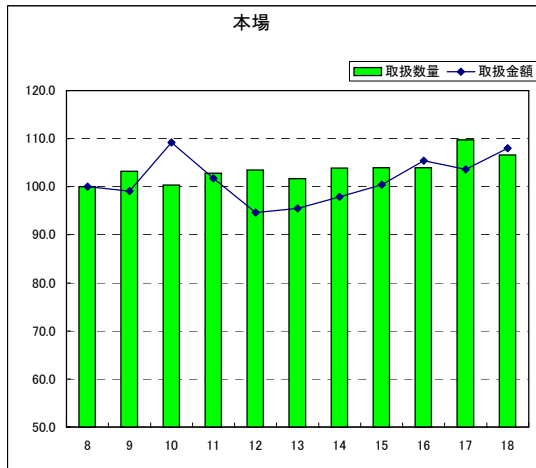
横浜市中央卸売市場取扱高の推移（昭和43年～平成18年）



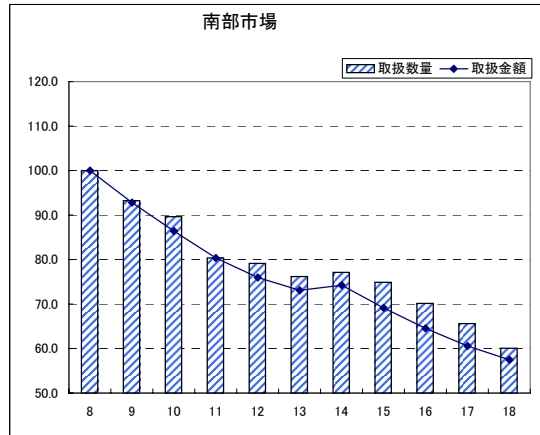
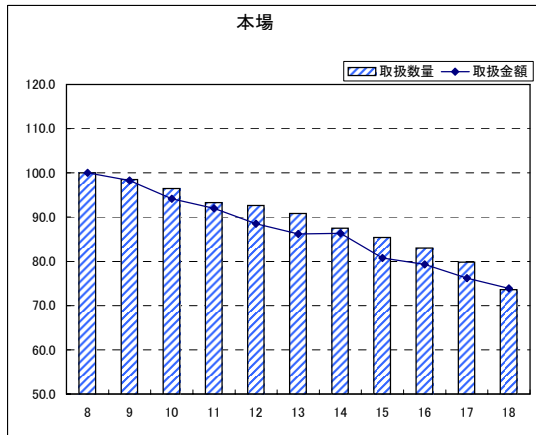
横浜市中央卸売市場取扱高の推移(平成8～18年次)

青果部

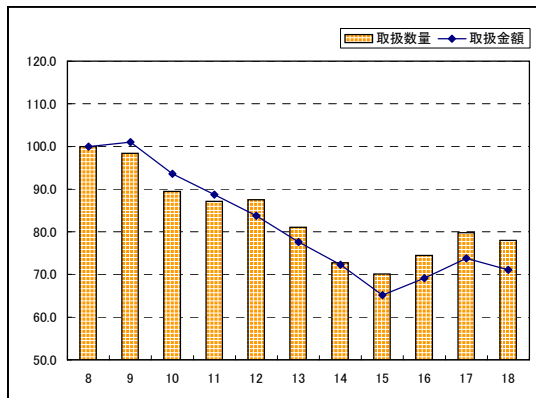
(グラフは平成8年を100とした指標)



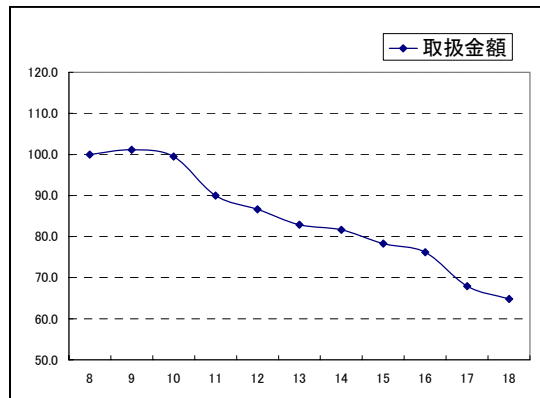
水産物部



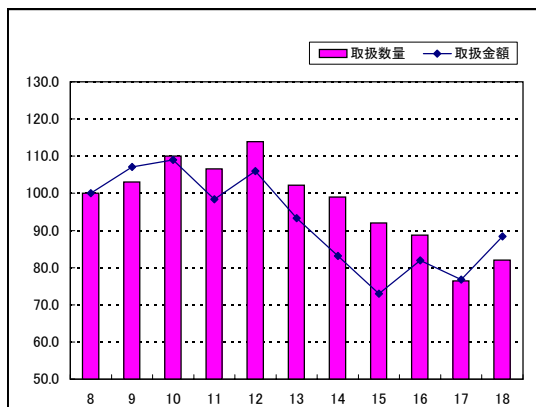
鳥卵部



花き部



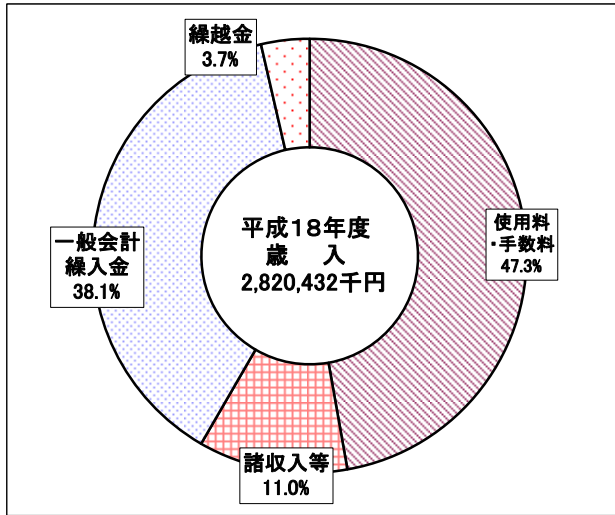
食肉部



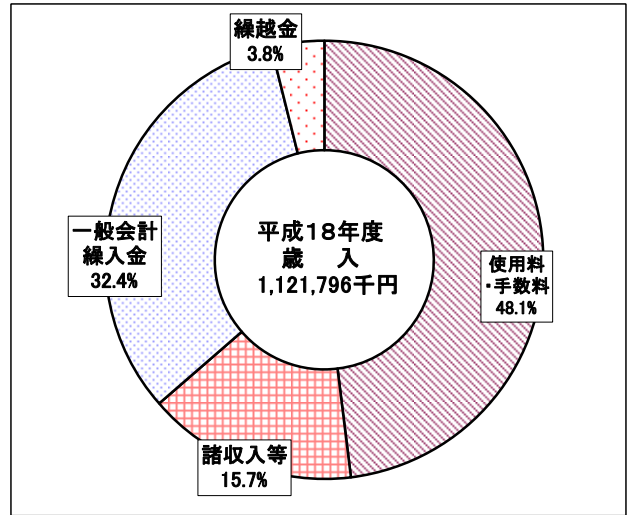
中央卸売市場会計(本場・南部市場)平成18年度決算

歳入構成

【本場】



【南部市場】

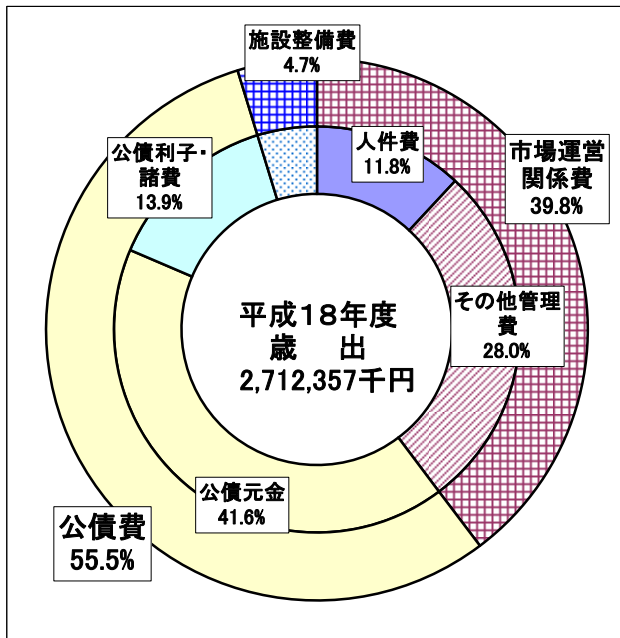


単位: 千円

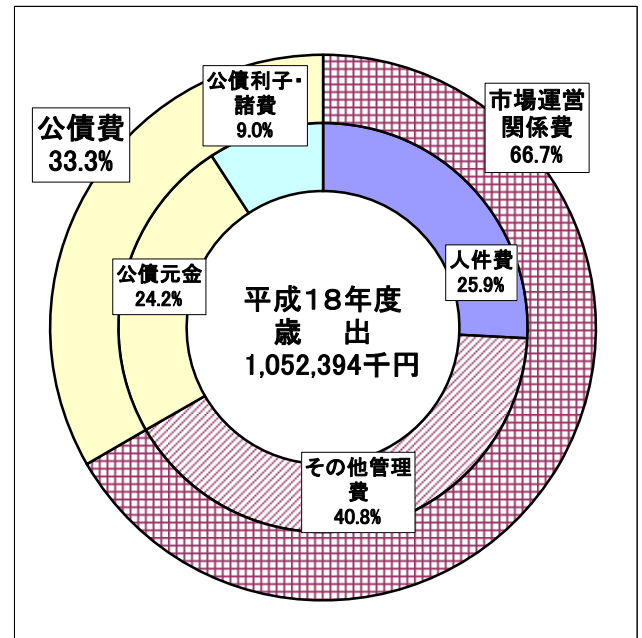
項目	本場	南部市場	計
使用料・手数料	1,333,551	539,293	1,872,844
諸収入等	310,098	175,816	485,914
一般会計繰入金	1,073,711	363,856	1,437,567
繰越金	103,072	42,831	145,903
小計	2,820,432	1,121,796	3,942,228

歳出構成

【本場】



【南部市場】



単位: 千円

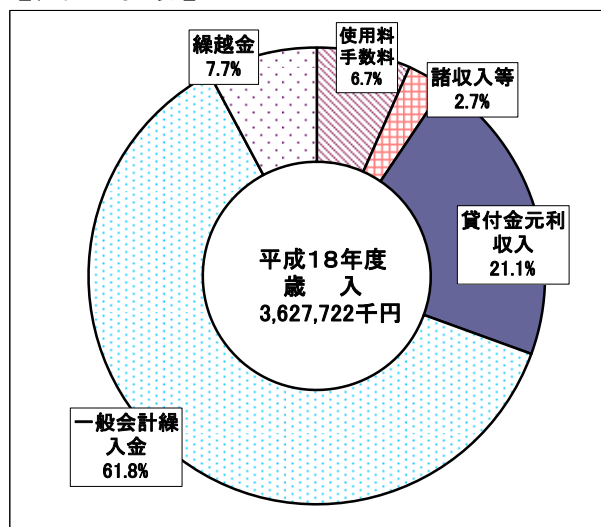
項目	本場	南部市場	計
人件費	320,398	272,743	593,141
その他管理費	759,573	429,614	1,189,187
公債元金	1,127,766	254,963	1,382,729
公債利子・諸費	376,606	95,074	471,680
施設整備費	128,014	0	128,014
小計	2,712,357	1,052,394	3,764,751

※単位未満は四捨五入したため、内訳の積算値は合計値と一致しない場合があります。

# 中央と畜場費会計(食肉市場)平成18年度決算

## 歳入構成

### 【食肉市場】

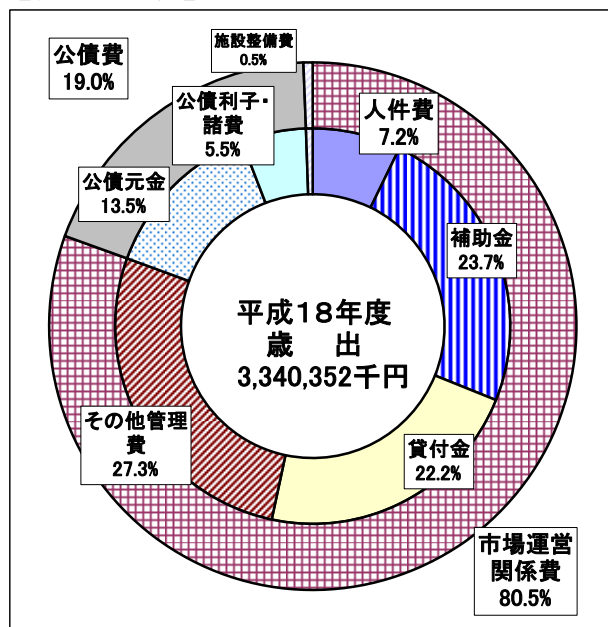


単位:千円

項目	食肉市場
使用料・手数料	241,789
諸収入等	98,887
貸付金元利収入	765,786
一般会計繰入金	2,241,834
繰越金	279,425
小計	3,627,722

## 歳出構成

### 【食肉市場】



単位:千円

項目	食肉市場		
人件費	242,137	2,690,377	市場運営関係費
補助金	793,200		
貸付金	742,786		
その他管理費	912,254		
公債元金	450,521	635,393	公債費
公債利子・諸費	184,872		
施設整備費	14,582	14,582	施設整備費
小計		3,340,352	

※単位未満は四捨五入したため、内訳の積算値は合計値と一致しない場合があります。



## 中央卸売市場の取扱数量基準の達成状況

農林水産省「第8次卸売市場整備基本方針(平成16年10月)」で示された再編基準のうち、取扱数量の指標(①開設区域内需要量②中央卸売市場としての基準取扱数量)の達成状況

横浜市場の取扱数量 (H18年度) (青果・水産物・食肉: t、花き:千本)			指標①		指標②	
			開設区域内 需要量(注1)	達成状況	中央卸売市場と しての基準取扱 数量	達成状況
本場	青果部	377,625	350,365	○	65,000	○
	水産物部	75,395	153,498	×	35,000	○
南部市場	青果部	127,982	159,277	×	65,000	○
	水産物部	44,477	69,781	×	35,000	○
本場・南部 市場合計	青果部	505,607	509,642	×	65,000	○
	水産物部	119,871	223,278	×	35,000	○
南部市場	花き部	54,647	381,346	×	60,000	×
食肉市場	食肉部	19,606	102,425	×	指標なし	

(注1)開設区域内需要量＝開設区域人口×1人あたり年間需要量

青果部・水産物部の開設区域需要量算定については、農林水産省指示に従い、本市人口を北部と南部の区に分け、それぞれの区人口を本場・南部市場の開設区域人口としている。

開設区域人口	本場	南部市場	合計
(H18.3.31住民基本台帳人口)	2,436,476	1,107,629	3,544,104

1人あたり年間需要量	青果	水産物	花き	食肉
(t、千本)	0.1438	0.063	0.1076	0.0289

(注2)花き部の取扱数量は鉢物1鉢＝切花8本換算

市場再整備手法の比較

	本場・南部市場の2市場体制を維持			本場・南部市場を統合		
	①本場・南部市場を現在地で再整備	②本場・南部市場の機能分化	③機能分化(本場を移転)	④本場への統合	⑤南部市場への統合	⑥移転新設
概要	現在の本場・南部市場の業務を継続しながら、建替え・増改築により機能強化を図る	本場を水産物、南部市場を青果専用(又はその反対)の市場として整備	南部市場を青果市場とし、本場を水産市場として他の候補地に移設(又はその反対)	本場の施設を順次建替え、高度利用を進めた上で南部市場の機能を移転する。移転後に南部市場の用地を売却又は他の用途に転換	南部市場の施設を順次建替え、高度利用を進めた上で本場機能を移転する。移転後に本場の用地を売却又は他の用途に転換	新たな市場用地を取得し、施設を建設。本場・南部市場の機能を移転し両市場用地を売却又は他の用途に転換
メリット	<input type="checkbox"/> 新規の土地取得は基本的に不要  現在の出荷者・販売先の維持が期待できる	<input type="checkbox"/> 新規の土地取得は基本的に不要  卸売会社など、本場・南部両市場で事業展開している事業者は統合によるコスト削減が期待できる	<input type="checkbox"/> 本場用地の売却資金を市場整備に利用できる  卸売会社など、本場・南部両市場で事業展開している事業者は統合によるコスト削減が期待できる  本場周辺環境との調和の問題は解決	<input type="checkbox"/> 南部市場用地の売却資金を市場整備に利用できる  <input type="checkbox"/> 本場・南部市場を個別に整備する場合と比べて整備費を大幅に削減できる  <input type="checkbox"/> 開設者に管理運営面での合理化メリットあり。市民にとっての市場運営コスト(一般会計からの繰入等)の軽減が可能  集荷力向上による販売増が期待できる	<input type="checkbox"/> 本場用地の売却資金を市場整備に利用できる  <input type="checkbox"/> 本場・南部市場を個別に整備する場合と比べて整備費を大幅に削減できる  <input type="checkbox"/> 開設者に管理運営面での合理化メリットあり。市民にとっての市場運営コスト(一般会計からの繰入等)の軽減が可能  集荷力向上による販売増が期待できる	<input type="checkbox"/> 本場・南部市場用地の売却資金を市場整備に利用できる  <input type="checkbox"/> 本場・南部市場を個別に整備する場合と比べて整備費を大幅に削減できる  <input type="checkbox"/> 開設者に管理運営面での合理化メリットあり。市民にとっての市場運営コスト(一般会計からの繰入等)の軽減が可能  集荷力向上による販売増が期待できる  施設のレイアウトが自由。建替えよりも工期の短縮、コスト削減が可能
	デメリット	<input type="checkbox"/> 既存用地の売却収入が無い場合、他からの資金調達が必要  <input type="checkbox"/> 統合の場合と比べて多額の整備費が必要  <input type="checkbox"/> 開設者に管理運営面での合理化メリットなし。市民にとっての市場運営コスト(一般会計からの繰入等)の軽減が困難  本場周辺環境との調和(騒音・交通障害など)の問題が解決されない  既存施設の一部を残す場合、施設レイアウトが制約される。市場を運営しながら整備するため、工期の長期化・コスト高につながる	<input type="checkbox"/> 既存用地の売却収入が無い場合、他からの資金調達が必要  <input type="checkbox"/> 統合の場合と比べて多額の整備費が必要  <input type="checkbox"/> 開設者に管理運営面での合理化メリットなし。市民にとっての市場運営コスト(一般会計からの繰入等)の軽減が困難  本場周辺環境との調和(騒音・交通障害など)の問題が解決されない  既存施設の一部を残す場合、施設レイアウトが制約される。市場を運営しながら整備するため、工期の長期化・コスト高につながる	<input type="checkbox"/> 新規の土地取得が必要。用地選定にあたり綿密な立地調査、周辺住民・周辺事業者等との調整が必要  <input type="checkbox"/> 統合の場合と比べて多額の整備費が必要  <input type="checkbox"/> 開設者に管理運営面での合理化メリットなし。市民にとっての市場運営コスト(一般会計からの繰入等)の軽減が困難	<input type="checkbox"/> 用地拡張(本場隣接地の取得)が非常に困難  <input type="checkbox"/> 高層化が必要なため、施設のレイアウト・車両動線が制約され、建設コストも割高となる  本場周辺環境との調和の問題が残り、交通量増大による道路事情の悪化が懸念される  南部市場の顧客(市内南部・湘南地域)を失う可能性がある	本場の顧客(市内北部地域)を失う可能性がある  南部市場周辺での交通量増大による道路事情の悪化が懸念される  既存施設の一部を残す場合、施設レイアウトが制約される  市域南部は人口が減少しており、横浜市全体の都市構造・バランスとの整合が取れなくなる懸念がある

## 農林水産省基準による現在の横浜市場の施設規模充足率

(農林水産省の施設規模算定基準(注)に横浜市中央卸売市場の平成14～18年度の平均取扱量をあてはめて試算)

	種別	取扱量から必要規模を算定する施設	施設の現状等から必要規模を算定する施設	駐車場 施設	建物 延床面積	市場内道路	緑地	用地
	主な施設	卸売場・仲卸売場・買荷保管所	倉庫・冷蔵庫・事務所・加工処理施設					
本場	必要規模	33,643㎡	44,871㎡	67,523㎡	121,928㎡	23,463㎡	23,463㎡	117,716㎡
	現有規模	38,297㎡	50,955㎡	56,137㎡	138,364㎡	-	-	110,333㎡
	充足率	114%	114%	83%	113%	-	-	94%
南部市場	必要規模	13,514㎡	31,022㎡	38,402㎡	59,925㎡	14,234㎡	14,234㎡	71,169㎡
	現有規模	45,978㎡	35,014㎡	38,402㎡	96,381㎡	-	-	168,227㎡
	充足率	340%	113%	100%	161%	-	-	236%
本場・南部 市場合計	必要規模	47,157㎡	75,893㎡	105,925㎡	181,853㎡	37,697㎡	37,697㎡	188,884㎡
	現有規模	84,275㎡	85,969㎡	94,539㎡	234,745㎡	-	-	278,560㎡
	充足率	179%	113%	89%	129%	-	-	147%
食肉市場	必要規模	2,354㎡	11,093㎡	9,575㎡	15,247㎡	5,350㎡	5,350㎡	26,675㎡
	現有規模	2,977㎡	11,093㎡	4,566㎡	15,030㎡	-	-	38,924㎡
	充足率	126%	100%	48%	99%	-	-	146%

(注)「卸売市場の施設規模の算定基準について(平成17年3月31日付16総合第2013号総合食料局長通知)」及び「卸売市場整備基本方針(平成18年4月)」

## 市場再整備手法別の建設費等比較表

(単位:百万円)

項目		現状	本場・南部市場の2市場体制を維持			本場・南部市場を統合			備考	
			①本場・南部市場を現在地で再整備	②本場・南部市場の機能分化	③機能分化(本場を移転)	④本場への統合	⑤南部市場への統合	⑥移転新設		
概要	用地面積(m <sup>2</sup> )	本場	110,333	110,333		94,481			各再整備手法の用地・建物延床面積は農林水産省基準に基づく必要規模推計値	
		南部	168,227	168,227			188,884			
		計	278,560	278,560		262,708	188,884			
	建物延床面積(m <sup>2</sup> )	本場	138,364	121,928	90,964		181,853			
		南部	96,381	59,925	90,889					
計	234,745	181,853								
工期			8~10年	8~10年	4~5年	10~12年	10~12年	3年		
建設費	指数		2.21	2.21	1.53	1.91	1.69	1.00		
	建設費 ※		130,616	130,616	90,426	112,885	99,883	59,102	建設費=建物延床面積 × 325千円/m <sup>2</sup> × 指数	
	手法①を100%とした場合の建設費(%)		100%	100%	69%	86%	77%	45%		
用地費	市場用地購入費	本場	0	0	14,645	20,895	0	29,277	用地単価: 本場 266千円/m <sup>2</sup> 、 南部 99千円/m <sup>2</sup> 、 新規候補地 155千円/m <sup>2</sup> (平成19年公示価格による)	
		南部	0	0	0	0	2,045			
	市場用地売却費	本場	0	0	29,349	0	29,349	46,003		
南部		0	0	0	16,654	0				
用地売却益			0	0	14,704	-4,240	27,304	16,726		
総収支			130,616	130,616	75,722	117,125	72,579	42,376		

※建設費単価は東京都豊洲新市場計画における建設費を参考に 325千円/m<sup>2</sup>と仮定した。  
 ※建設費には取壊し費用、仮設費、駐車場設置費、場内道路舗装費、緑化費を含む。  
 ※指数は移転新設を基準として各整備手法による仮設費、駐車場設置費、緑化費の相違を基に算定した。

## 2 横浜市中心卸売市場のあり方検討委員会会議録

## 第1回横浜市中心卸売市場のあり方検討委員会会議録

議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 横浜市中心卸売市場のあり方検討委員会設置要領の制定について</li> <li>2 副委員長を選任について</li> <li>3 委員会のスケジュールと主な検討項目について</li> <li>4 横浜市中心卸売市場の現状について</li> <li>5 横浜市中心卸売市場が直面する課題について</li> </ol>
日 時	平成18年11月9日（木）午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	横浜市中心卸売市場本場 3階研修室
出席者	若杉委員長、岩島副委員長、三村委員、樋口委員、福岡委員、服部委員、鈴木委員、増田委員（計8名）
欠席者	高見沢委員、池田委員（計2名）
開催形態	非公開
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 横浜市中心卸売市場のあり方検討委員会設置要領を制定しました。</li> <li>2 副委員長を選任しました。</li> <li>3 委員会のスケジュールと主な検討項目を決定しました。</li> </ol>
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 横浜市中心卸売市場の現状について事務局より説明を行いました。</li> <li>2 横浜市中心卸売市場が直面する課題について事務局より説明を行いました。</li> </ol>

## 第2回横浜市中心卸売市場のあり方検討委員会会議録

議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 横浜市中心卸売市場のあり方検討委員会会議録の公表について</li> <li>2 横浜市場のあり方に関する事業者アンケートについて</li> <li>3 卸売市場設置の意義と役割について</li> <li>4 これからの消費地卸売市場に求められる機能について</li> </ol>
日 時	平成19年1月11日（木）午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	横浜市中心卸売市場本場 3階研修室
出席者	若杉委員長、岩島副委員長、三村委員、樋口委員、福岡委員、服部委員、鈴木委員、増田委員、池田委員（計9名）
欠席者	高見沢委員（1名）
開催形態	非公開
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員会会議録を横浜市ホームページへ掲載することとしました。</li> <li>2 横浜市場のあり方に関する事業者アンケートを実施することとしました。</li> </ol>
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 卸売市場設置の意義と役割について審議を行いました。</li> <li>2 これからの消費地卸売市場に求められる機能について審議を行いました。</li> </ol>

### 第3回横浜市中心卸売市場のあり方検討委員会会議録

議 題	これからの卸売市場が果たすべき役割・機能について
日 時	平成19年5月10日（木）午後1時30分から午後4時まで
開催場所	横浜市中心卸売市場南部市場 2階会議室
出席者	若杉委員長、岩島副委員長、三村委員、樋口委員、福岡委員、服部委員、鈴木委員、増田委員、池田委員（計9名）
欠席者	高見沢委員（1名）
開催形態	非公開
報告事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員会会議録の横浜市ホームページへの掲載について報告しました。</li> <li>2 実施中の出荷者・事業者アンケートの中間報告を行いました。</li> </ol>
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 南部市場の卸売場・青果部加工配送センターの視察を行いました。</li> <li>2 これからの卸売市場が果たすべき役割・機能について審議を行いました。</li> </ol>



## 第4回横浜市中心卸売市場のあり方検討委員会会議録

議 題	卸売市場の経営のあり方について
日 時	平成19年7月6日（金）午後1時30分から午後3時30分まで
開催場所	横浜市中心卸売市場本場 3階研修室
出席者	若杉委員長、岩島副委員長、三村委員、高見沢委員、樋口委員、福岡委員、服部委員、鈴木委員、増田委員、池田委員（計10名）
欠席者	なし
開催形態	非公開
報告事項	出荷者・事業者アンケートの結果概要報告を行いました。
議 事	卸売市場の経営のあり方について審議を行いました。

## 第5回横浜市中心卸売市場のあり方検討委員会会議録

議 題	卸売市場の経営のあり方について 横浜市における卸売市場の必要規模について 中央卸売市場として望ましい立地条件について
日 時	平成19年9月5日（水）午後1時30分から午後4時00分まで
開催場所	横浜市中心卸売市場本場 3階研修室
出席者	若杉委員長、高見沢委員、樋口委員、福岡委員、服部委員、鈴木委員、増田委員、池田委員（計8名）
欠席者	岩島副委員長、三村委員（計2名）
開催形態	非公開
報告事項	第1回から第4回までのあり方検討委員会の中間報告書として、開催状況、審議状況、審議総括の報告、出荷者・事業者アンケートの集計結果報告を行いました。
議 事	卸売市場の経営のあり方、横浜市における卸売市場の必要規模、中央卸売市場として望ましい立地条件について審議を行いました。

## 第6回横浜市中心卸売市場のあり方検討委員会会議録

議 題	提言に向けた課題の整理について 提言書の構成について
日 時	平成19年11月9日（金）午後1時27分から午後3時45分まで
開催場所	横浜市中心卸売市場本場 3階研修室
出席者	若杉委員長、岩島副委員長、樋口委員、福岡委員、服部委員、鈴木委員、増田委員、池田委員（計8名）
欠席者	高見沢委員、三村委員（計2名）
開催形態	非公開
報告事項	なし
議 事	提言に向けた課題の整理、提言書の構成について審議を行いました。

第7回横浜市中心卸売市場のあり方検討委員会会議録

議 題	委員会提言書の取りまとめについて 今後のスケジュールについて
日 時	平成20年1月17日（金）午後1時27分から午後4時10分まで
開催場所	横浜市中心卸売市場本場 3階研修室
出席者	若杉委員長、岩島副委員長、樋口委員、福岡委員、服部委員、鈴木委員、増田委員、池田委員、高見沢委員、三村委員（計10名）
欠席者	なし
開催形態	非公開
報告事項	なし
議 事	横浜市中心卸売市場のあり方に関する提言書（素案）について審議を行いました。
事務局 説明項目	委員会提言書の取りまとめ及び今後のスケジュールについて説明をおこないました。

## 第8回横浜市中央卸売市場のあり方検討委員会会議録

議 題	委員会提言について
日 時	平成20年2月20日（水）午後1時30分から午後3時40分まで
開催場所	横浜市中央卸売市場本場 3階研修室
出席者	若杉委員長、岩島副委員長、福岡委員、服部委員、鈴木委員、増田委員、池田委員（計7名）
欠席者	高見沢委員、三村委員、樋口委員（計3名）
開催形態	非公開
報告事項	なし
議 事	横浜市中央卸売市場のあり方に関する提言について審議を行い、提言書を確定しました。

# 横浜市中央卸売市場のあり方に関する提言書

平成20年3月発行

横浜市中央卸売市場開設運営協議会  
横浜市中央卸売市場のあり方検討委員会

発行 横浜市経済観光局 中央卸売市場本場  
運営調整課

横浜市神奈川区山内町1番地  
電話 (045) 459-3301  
FAX (045) 459-3307